



### 3. ○○の考察 (センタリングする)

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○  
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○  
5 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○  
○○○○○○○○○○○○○○○○

### 4. おわりに

10 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○  
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○  
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○55  
○○○○○○○○○○○○○○○○○○

15 注  
1) ここでの「生活」とは、○○○の意味で用いる。  
詳しくは森川 (2019:20) を参照。

#### 引用・参考文献

- 20 1) 唐崎卓也 (2022) 「日本における Community Supported Agriculture (CSA) の展開」農村生活研究, 65(2): 4-7, doi:10.34585/rlsj.65.2\_465  
2) 森川辰夫 (2019) 『今日に生きる「農家生活リズム」』筑波書房  
25 3) 農林水産省経営局就農・女性課「令和4年度農業委員への女性の参画状況」(令和5年5月15日)  
https://www.maff.go.jp/j/keiei/jyosei/attach/pdf/joseiinn.html (最終閲覧 2023年5月25日)  
30 4) Keith Halfacree, Counterurbanisation in post-covid-19 times, Signifier of resurgent75 interest in rural space across the global North?, Journal of Rural Studies 110, August  
35 2024: 1-8, doi: 10.1016/j.jrurstud.2024.103378

○引用文献の掲載順は、日本語、アルファベット80表記、その他の言語表記とする。各々筆頭著者の姓に基づいて、日本語表記では50音順、アルファベット表記ではアルファベット順、その他の言語の文献は、その国の言語ルール順で示す。

(202\*年\*月\*日 受理) 編集委員会が記入

### <原稿作成上の注意事項>

- 45 1. 原稿の体裁  
○原稿 (審査用原稿) はパソコン等で作成し、A4用紙片面を用い、本文・図・表・写真をレイアウトすること。  
○原稿のマージンは、上下 30mm, 左右 20mm とする。  
50 ○本文は二段組みで、一行あたり 22 文字×43 行とする。  
○本文の読点は「,」、句点は「。」とし、いずれも全角とする。  
○基本フォントは、和文フォントはMS明朝とし、アルファベットと数字はCenturyとする。  
○投稿者の氏名、所属は、投稿時および審査途中には記入しないこと。採用が決定し、最終原稿の提出時に記入すること。  
60 ○以上の体裁に従って作成された書式の見本 (MS-Word, PDF) が、学会ホームページに掲載されているので適宜利用されたい。

### 2. 図表の作成

- 原稿は写真製版であり、刷り上がり時には A4サイズから B5 サイズに縮小される。図表の作成あたっては、この縮小率を考慮し、文字や図、写真が鮮明に見えるように作成すること。  
○図表と本文の間は 1 行空け、中央揃えとすること。  
70 ○図表番号とタイトルは MS ゴシック, 10.5pt とする。図表の注は 9pt。行間隔 (改行幅) を 0.75(3/4) まで詰めてもよい  
○図表は 1 段内か、2 段内に割り付ける。余白が生じて、そこには文章を記さないこと。

### 3. 謝辞

- 謝辞を加える場合には、本文と補注・文献の間に記入すること。  
○謝辞は投稿時には記入せず、スペースのみ確保し、採用決定後の最終原稿の提出時に記入すること。

### 4. 注および引用・参考文献

- 85 ○注および引用・参考文献のフォントサイズは 10pt とする。